

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名 一般国道57号 <small>もりやま</small> 森山拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局							
起終点 自：長崎県 <small>うんげん</small> 雲仙市 <small>あいのまち</small> 愛野町乙字境ノ尾下 至：長崎県 <small>いさはや</small> 諫早市長野町	延長 7.6km								
事業概要 森山拡幅は地域高規格道路「島原道路」の一部を構成し、広域ネットワークを形成、国道57号の交通混雑の緩和等を目的とする事業である。									
S63年度事業化	H元年度都市計画決定 (H19年度変更)	H8年度用地着手							
H11年度工事着手									
全体事業費	約549億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)							
	約80%	供用済延長 1.6km							
計画交通量 13,200～30,500台/日									
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">B/C (事業全体)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">1.4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">4.2</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	1.4	(残事業)	4.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> 総費用 (残事業)/ (事業全体) 95/678億円 (事業費：83/658億円 維持管理費：12/20億円) </td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> 総便益 (残事業)/ (事業全体) 395/957億円 (走行時間短縮便益：351/891億円 走行経費減少便益：28/50億円 交通事故減少便益：16/16億円) </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> 基準年 令和元年 </td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/ (事業全体) 95/678億円 (事業費：83/658億円 維持管理費：12/20億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 395/957億円 (走行時間短縮便益：351/891億円 走行経費減少便益：28/50億円 交通事故減少便益：16/16億円)	基準年 令和元年
B/C (事業全体)	1.4								
(残事業)	4.2								
総費用 (残事業)/ (事業全体) 95/678億円 (事業費：83/658億円 維持管理費：12/20億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 395/957億円 (走行時間短縮便益：351/891億円 走行経費減少便益：28/50億円 交通事故減少便益：16/16億円)	基準年 令和元年							
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.3～1.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.4～1.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.4～1.4（事業期間±20%）									
【残事業】交通量：B/C=3.9～4.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=3.8～4.6（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=4.0～4.4（事業期間±20%）									
事業の効果等									
①広域交通ネットワークの形成 ・沿線都市と広域交通拠点との所要時間の短縮や高速定時性の確保が図られ、島原地域の観光交流促進や農産物等の物流効率化に貢献することが期待される。									
②地域産業の支援 ・広域ネットワークの形成によって効率的な輸送となることで、地域産業の更なる発展が期待される。									
③交通混雑の緩和 ・混雑時に渋滞が発生している事業中区間の自専道整備により、交通の分担が図られることで交通混雑の緩和が期待される。									
④交通安全性の向上 ・追突事故が多く発生している事業中区間について、自専道整備による交通混雑の緩和により、交通安全性の向上が期待される。									
⑤生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）									
関係する地方公共団体等の意見 諫早市をはじめとする4市で構成される①「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会（会長：諫早市長）」や②「島原半島振興対策協議会（会長：島原市長）」等により早期整備の要望を受けている。 （①平成30年10月、②平成30年11月）									
県の意見 一般国道57号は、県央地区と島原半島を繋ぐ路線であり、物流の効率化や交流人口の拡大、観光振興などに貢献する重要な幹線道路となっています。 このうち、事業中区間は、九州横断自動車道などと一体となって広域ネットワークを形成する島原道路の一部を構成するものであり、本県としても当該事業の完成に大きな期待を寄せているところです。 このような状況であることから、「対応方針（原案）」のとおり事業を継続し、早期完成に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。									

